

まちかどトーク（国吉地区）議事要旨

日時：令和8年1月29日（木）19:00～20:20

場所：国吉地域交流センター

参加者：48人

1 市長あいさつ

2 市政に関する説明

「空き家対策」について建築政策課から説明の後、質疑応答

参加者

地区社会福祉協議会の「空き家プロジェクト」で空き家を見学し、地域での利活用について考える活動を行っている。なかには野生動物が出入りする空き家もある。

建築政策課

動物が出入りしている状態は、適切に管理されていない空き家（「管理不全空家等」）に該当する可能性がある。所有者へ適切な管理を指導・助言できるため、相談いただきたい。

参加者

降雪時、空き家の屋根雪が車道に落ちて通行に支障が出ている。また、雪の重みで倒壊しそうな空き家が「特定空家等」となるよう対象範囲を広げてほしい。

市の「老朽空き家除却支援事業」では、「特定空家等」等は上限400万円の補助を受けられるが、農村地帯の広い敷地の空き家は、解体費用が補助上限を大幅に超えるケースもある。

さらに、解体して更地にすると固定資産税が高くなるため、現状を踏まえた支援が必要だと思う。

「コンパクトなまちづくり」はまちなかを対象とした施策であり、郊外に住む人は、見捨てられたように感じる。

建築政策課

「特定空家等」に至る前の「管理不全空家等」についても市が勧告できるようになったため、法令に基づき指導を行っていききたい。

除却費用に係る補助制度はあるが、所有者に責任を持って管理いただきたい。

老朽化した危険な空き家（「特定空家等」）に認定し、勧告された家付き土地は、固定資産税の優遇措置が適用されない可能性もある。

国吉地区は都市計画法の市街化調整区域に属するが、条件次第で建築行為も可能である。空き家対策と合わせて、地域のまちづくりに協力していききたい。

市長

郊外のまちづくりでは公共交通の利便性向上を考える必要がある。どの地域で暮らしても、公共交通を利用できる仕組みづくりのために、交通事業者と意見交換を行っている。市は「特定空家等」に勧告を行い、対応しない場合は強制的に撤去し、撤去費用を所有

者に求めることができる。「特定空家等」という制度が全ての解決策にはならないが、出来ることから始めていく。

参加者

空き家バンクの地区毎の登録数や契約数、国吉地区での成約件数を知りたい。

国吉地区は立地適正化計画の居住誘導区域に指定される見込みはあるのか。

建築政策課

国吉地区の成約件数は居住誘導区域内の地区に比べて少ない傾向にある。市街化調整区域は建築許可が必要など、手間がかかることが理由と考える。国吉地区が居住誘導区域に指定されていないのも、同じく市街化調整区域であることが主な理由である。

参加者

国吉市営住宅は、建物が古く入居者は少ないが、建て替えて若い世代に住んでもらえるようにしてはどうか。

建築政策課

国吉市営住宅は昭和 50 年代に建設され、「高岡市公共施設再編計画」や「高岡市公営住宅長寿命化計画」の計画では、長期的には廃止の方向性を示しているものの、具体的な解体時期は定めておらず、当面は維持管理する方針である。

3 意見交換

「高岡市人口ピラミッド」を基に、市長より説明の後、意見交換

参加者

10 年後には介護が必要な人がさらに増えるが、市街化調整区域では介護施設等の建設が難しい。スーパーマーケットもないため、車の運転ができない高齢者には不便である。市街化調整区域を見直し、住宅など建物の建築が出来るようにしてほしい。

高岡市の将来像を示し、50 年先を見据えた施策を提案してほしい。

市長

例えば、自動運転技術なども視野に入れるなど、大きな視点でまちづくりを考えていく必要がある。

無花粉スギの育成や特産品の「国吉りんご」の PR 強化など、出来ることを積み重ね、住民の皆様と地域の将来を議論していきたい。

参加者

保育士・幼稚園教諭の養成機関が必要だと思うが、市で検討しているのか。

市街化調整区域の見直しについて地域住民と議論する機会を設けてほしい。

佐加野にある工場付近から県道守山小矢部線に至る区間の都市計画道路が廃止されたが、その代替となる道路整備の計画はあるのか。

市長

保育士・幼稚園教諭の養成については問題意識を持っている。他のご意見・要望については検討したい。

参加者

岩坪地区の頭川沿いで浸水被害が毎年発生している。排水ポンプを増設するなど対策を

講じていただきたい。

市長

河川改修など根本的な解決は難しいため、排水ポンプなどで対応するしかない状況である。来年度予算での対応は難しいが、検討したい。